

平成28年4月23日

厚生労働省障害福祉課  
全国社会福祉協議会  
全国身体障害者施設協議会  
熊本県身体障害児者施設協議会  
熊本県障がい者支援課  
熊本市障害保健福祉課

御中

熊本県身体障害児者施設協議会  
会長 三浦 貴子  
(愛隣館)

## 熊本地震における支援物資等の状況報告について（4号）

22日は晴天となり、熊本市と益城町へボランティアセンターが開設され、復興に向かう気持ちが湧いてきました。

本日は、天草整肢園・苓龍苑より小林さん・坂本さん・山本さん、たまきな荘より平川さん・岩井さん、けやきより岡さん・和田さん、慈久園より諸藤さん・田中さん・堤さん、のボランティアを頂きました。

宿泊して交代しながら協力頂く天草の上記施設や福岡南部より通いでシフトを作って協力の慈久園、来週から入る菊池園など、そのシフト表がありがたく、スタッフと涙しました。

4/22	くまむた荘 第3次	←	けやき（島根県物資）
4/22	朋暁苑 第4次	←	天草整肢園・たまきな荘（兵庫県物資・仙台市物資）
4/22	能力開発センター第4次	←	愛隣館（高知県・岡山県・三重県・近畿物資）
4/22	かぼちゃクラブ（熊本市北区）	←	愛隣館（香川県・島根県物資）

朝8時に島根県出雲市より物資満載の10トン車（トラック協会）が着き、約25名で収納と仕分けをしました（約2時間）。箱にメッセージが書かれており、心の込もった支援に感謝します。

また、中四国、近畿地方から様々な物資が宅配で届きました。当福祉避難所を17日から利用のご家族も、「手伝いたい」と物資の仕分けに参加されています。

また、21日夜、「日本相談支援専門員協会」の菊本圭一会長と長野の橋結正さん、藤沢の吉田展章さんが、長期支援準備のために来熊。22日午後は県障がい者支援課、県社会福祉事業団、県福祉総合相談所の方々とお引き合わせしました。

### 【現状について】

- ①熊本市内の店舗のほとんどが閉店、スーパーや大型店舗での店頭販売は見られる。片付けが始まり、破損物品のゴミ袋の山が街のあちこちにある。
- ②熊本市内の精神科病院の外来に多くの人が並んでいる。「初診の人が多数来られている」とのこと

- ③施設職員をはじめ、県庁職員の皆さんも被災し、車中泊等のまま仕事を続けているとのこと。また、夫婦で県庁職員、24時間交替勤務の中、3歳の子どもは遠くの親戚に預けているとの例を聞いた。
- ④一方、県内唯一の難聴幼児通園施設は本日から開園したものの、数人の子どものしか通って来られない。避難所にいるか、遠くに避難している現状。何とか子ども達を支援したいのだが難しいとのこと。
- ⑤隣接の福岡県障害者支援施設協議会（23施設）の全会員施設で、被災障害者を受け入れる意志があることを日野博愛会長（千歳療護園）より電話で連絡頂いた。
- ⑥熊本県障がい支援課長より、県身体障害児者施設協議会会員施設で、何人を受け入れ支援ができるか調査して欲しいとの依頼があり、22日夜調査表発信、25日取りまとめ予定。
- ⑦熊本県身体障害児者協議会24施設の現状として、被害の大きい熊本市（6）、阿蘇市（1）、宇城市（1）等の施設で、断水の所が一部残る。水は出始めたが濁りがあり飲用不適などの状況もある。入浴ニーズが高まっている。  
また、建物に亀裂が入っている、周辺道路の陥没があり危険、との報告を受けている。

この週末で何とか家の中を片付け、泊まれるようにしたいとの話を聞きました。県内の大半が被災の事態。家の中に手を付けられず、仕事を優先している人々が多いと感じます。

恐怖を感じた2回の大地震の後、800回以上の余震が続きました。怖くて家の中に泊まらない人達をはじめ、県全体に精神的、身体的疲労があります。

しかしながら、本県に居て支援に向かえる私たちは、さらに全国のバックアップに支えられて前進できております。つながりのありがたさを痛感します。本当にありがとうございます。

障害者支援施設愛隣館

TEL：0968-43-2771

FAX：0968-43-2793

三浦携帯：090-3199-7125